

令和7年度 学校経営の全体構想

学校教育目標 個性をみがき たくましく生きる すはまっ子の育成

小中一貫教育目標 主体的に学び たくましく生きる 児童生徒の育成

千葉市立幸町第三小学校

<新学習指導要領> 「生きる力」の確実な育成

- 基礎的な知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成
- 自律、協調、思いやりの心など豊かな人間性の育成
- たくましく生きるための健康や体力の育成

経営理念

「子ども一人一人が尊重され、よさを発揮できる学校づくり」、学校・家庭・地域が連携し、信頼される学校づくりを進める。そのために、教職員一人一人が「自らの手で学校経営に携わっている(何でも話せる風土づくりと意思決定への参加意識)」という「協働体制」をつくり、教育目標の具現化に向けた「計画的、組織的、継続的」な教育活動及び一貫教育校を含めた特色ある教育課程を実施する。

<第3次千葉市学校教育推進計画>

夢と思いやりの心を持ち、未来を拓くこども

自ら考え 自ら学び 自ら行動できる力

- I 確かな学力の育成 II 豊かな心の育成
- III 健やかな体の育成 IV 質の高い教職員
- V 魅力ある教育環境

【目指す学校像】

- 子ども一人一人が尊重され、よさを発揮できる学校
- 生涯学習の基礎・基本を身につけられる、授業が充実した学校
- 学校・家庭・地域が連携し、信頼される学校

【めざす児童像】

- すすんで活動し、認め合う児童
- はげまし合い、心身づくりに取り組む児童
- まなびを深め、高め合う児童

【めざす教師像】

- 子供のよさを認め、励ます教師
- 研鑽に励み、指導力のある教師
- 組織の一員として協働する教師
- 児童・保護者・地域から信頼される教師

【重 点】

「豊かな人間性」の育成

- ◎規範意識や社会性、自己抑制能力の育成
 - 「すはまっ子よい子のきまり」の重点化と具体的な取り組みの工夫
 - 学校・学級生活のルールを順守できる児童の育成
 - 挨拶のできる集団形成
 - 情報モラル教育の推進
- ◎心に響く道徳教育の推進
 - 道徳教育全体計画の質的向上と授業力の向上
- ◎生徒指導、教育相談、特別支援教育の充実
 - 定期的な情報共有の場の設定
 - ステップルームの運用
 - 外部機関との連携による個別支援や健全育成
- ◎学年・学級経営の充実
 - 一人一人を尊重する学級学・学年経営
 - 自己肯定感、自己有用感が感じられる場面づくり
 - 「いいところさがし」
- PDCA(計画、実践、評価、改善)の活用
- 学年間、学年内の連絡体制の強化
- ◎特別活動の充実
 - 表現活動の場の設定(音楽集会など)
 - なかよし活動、バア学年活動
- ◎生き方を学ぶキャリア教育の推進
 - キャリアパスポートの活用と授業実践

「健やかな体」の育成

- ◎体育学習の充実
 - 体育学習の充実(めあて学習、教材・資料等の工夫)
 - 各種学習カードの活用・系統別の整理
- ◎体力づくりの推進
 - 運動強化月間の設定(鉄棒、縄跳び、長縄大会等)
 - 外遊びの日常化(学級経営の一環として)
- ◎運動習慣を身に付けるための取組
 - ・マリーンズ・ジェフ・トップスポーツ等の出前授業
- ◎特設運動部活動の充実
 - 時間の確保・全校体制での実施
- ◎健康教育の推進
 - 望ましい生活習慣の育成(保護者への啓発)
 - 健康・保健への意識向上
 - 食に関する指導の充実
- ◎生命(いのち)を守る安全教育の推進
 - 安全指導の日常化(交通安全、防犯、防災)
 - 危機管理体制の確立(防災、食物アレルギー対応)
 - 命(いのち)の安全教育の実施・CAP

「確かな学力」の育成

- ◎確かな学力の育成に向けた「わかった、できた、楽しかった」学習の工夫・改善
 - 学ぶ意欲の向上
 - 基礎的・基本的な知識技能の確実な習得(ギガタブの効果的な活用)
 - 体験的・問題解決的学習の推進
 - 学習ルールの理解と学習習慣の形成(三小スタンダード)
- ◎思考力・判断力・表現力を育むための言語活動の充実、言語環境の整備
 - 主体的、対話的で深い学びにつながる「聞く・話す・読む・書く」
- ◎小中一貫教育校としての取組(校内研究)
 - 学びの継続及び豊かな人間性の育成
 - 一貫教育を見据えた指導方法・学習形態の工夫
- ◎専科授業や交換授業による学習指導の充実
 - 音楽・理科・体育の専科授業及び学年内での交換授業等
 - 二中との連携授業(外国語等)
- ◎情報教育・ICT活用の推進
 - 情報活用能力の育成
 - ICT活用指導力の向上
- ◎図書室の活用と読書活動の推進(二中図書室との連携)
 - 図書時間の充実
 - 読書の奨励と読書習慣の育成
 - 市立図書館電子書籍の活用
- ◎家庭学習の推進・習慣化(家庭との連携)
 - 「家庭学習のすすめ」の推進やギガタブの活用

「信頼される学校づくり」

- ◎学校いじめ防止基本方針の理解といじめ問題対策委員会の確実な実施
 - いじめ事案への迅速・適切な組織的対応
 - いじめ防止策の工夫
- ◎保護者との連携*保護者の話に耳を傾ける・寄り添う
 - 家庭・地域へのタイムリーな情報発信
 - ・発信の方法や内容の工夫
- 理解と協力を得るための工夫(教育効果の倍増)
 - ・何かあったらその日のうちに動く。
 - 「ホウレンソウ」①学年主任→②管理職
- PTAとの連携
 - ・すはまっ子みまもり隊、あいさつ週間、CAP等
 - 学校評価アンケートの実施(年2回)
- ◎地域との連携
 - 地域人材の積極的活用(ガーデン文庫、人生万歳等)
 - 地域の各種団体との連携
 - ・36 連協や育成委員会
 - OCTS(ケーブルTV)での情報発信
 - 非常災害時における地域との連携
 - ・津波訓練及び避難所運営委員会
 - 小中一貫校に関わる情報の提供
 - ・幸町モデル:小中一貫校としての特色ある学校づくり

「教職員の資質向上」

- ◎授業改善への意識改革
- ◎危機管理への意識向上
- ◎悉皆研修やフレッシュ研修・自己研修への参加
- ◎児童理解の研修実施(生徒指導・特別支援教育)
- ◎Plant・Nits の活用

「働き方改革」

- ◎在校時間の削減
 - 目標 平均45 時間
 - 月1回ノー残業デー(個人設定)
- ◎ICT の活用
 - 家庭学習等でのギガタブ利用(週1 日以上)
 - 資料の共有やバーパレス化・「すぐる」の活用
- ◎日課時程の見直しや行事内容の精選
- ◎SSS の活用